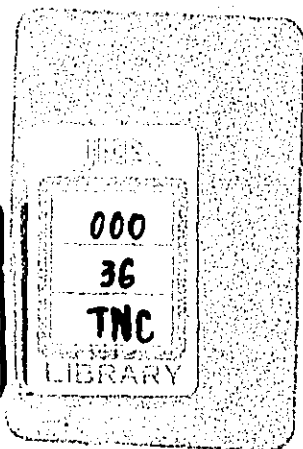


# 名古屋国際研修センター概要

昭和 56 年 度

国際協力事業団  
名古屋国際研修センター  
〒465 名古屋市名東区亀ノ井2-73  
(電話702-1391)



国際協力事業団

国際協力事業団

受入  
月日 84. 5. 21

15000

冊数 15100

36

登録No. 06091

TNC



## 1. 沿革

名古屋国際研修センター(Nagoya International Training Centre, 略称NITC)は、日本国政府の技術協力計画に基づいて開発途上諸国から来日する研修員の中京地区における研修および宿泊の拠点として機能する国際協力事業団(Japan International Cooperation Agency, 略称JICA)の付属機関である。

当センターの歴史は、昭和36年8月、当時政府ベースによる技術協力の実施機関であった社団法人アジア協会の国内研修センターとして名古屋市千種区覚王山に設立された時に始まる。

わが国の技術協力に対する世界各国からの拡大化の要請が高まる中で、技術協力の実施に必要な業務を効果的に行なうため、アジア協会等技術協力関係機関を統合して、昭和37年6月海外技術協力事業団が設置されたことに伴い、当センターは同事業団に引継がれた。

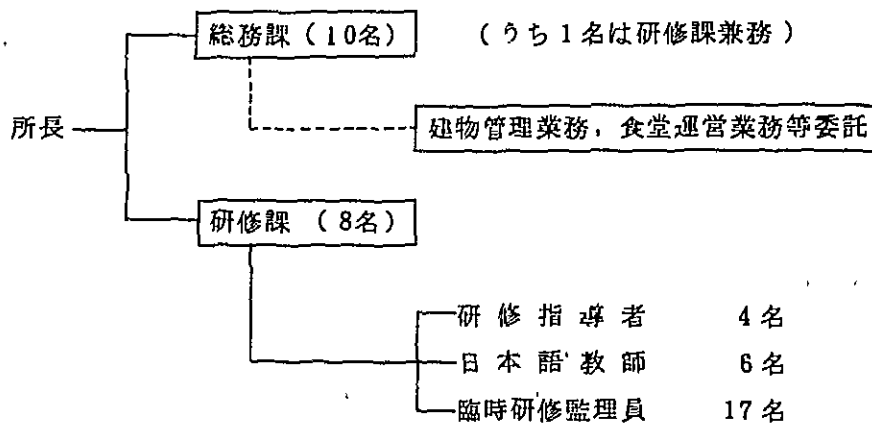
当センター設立当初の宿泊機能は45名の規模であったが、研修員受入事業の増大につれて、センターの拡充の必要に迫られたため、昭和46年に至って収容人員100名の施設を現在の名古屋市名東区亀の井に建設し、移転した。

わが国の経済・技術協力の拡充および援助の効率的実施のための体制強化に対する国の内外の要請に応えるため、昭和49年8月国際協力事業団が設置されたことに伴い、当センターは同事業団に引継がれ今日に至っている。

現在地に移転してから11年、旧センター時代を通算すると既に19年が経過している。その間、国立機関、地方公共団体並びに民間企業等の絶大な支援と協力を得て、研修事業の実施に当たってきているが、当地区は、関係諸機関の理解と協力並びに中京地区が有する恵まれた立地条件から、国際協力への対応力が極めて高いため、その目標に照らし、研修員受入事業のなお一層の拡大発展が期待されている。

## 2. 組織

当センターの組織は総務課と研修課とからなり、総務課ではセンターの運営および研修員の福利厚生、生活指導相談並びに広報等を行ない、研修課では、研修の運営管理、日本語研修等を行なっている。職員数は19名であるが、研修の実施に当っては必要に応じて研修指導者、臨時研修監理員等多数を配している。



## 3. 事業

### 研修の形態

予め設定したカリキュラムに基づいてグループで研修を行なう集団研修と、個々の要請に応じて行なう個別研修の二つの形態により研修を実施している。

### 研修員受入実績

昭和37年度より55年度末現在に至る当センターの受入実績は、集団研修コース1,788名、個別研修177名、総計61カ国、1,960名に及んでいる。

詳細は、次表以下のとおりである。

表1

## (1) 集団研修コース研修員地域別受入実績(昭和37年度～昭和55年度)

地域	区分	国 数	人員(名)	比率(%)	備 考		
ア	シ	ア	18	1,168	65.5	フィリピン 206名 インドネシア 203名 タ イ 163名 そ の 他 596名	
中	近	東	13	277	15.5	トルコ 62名 エジプト 55名 イ ラ ン 48名 そ の 他 112名	
ア	フ	リ	カ	10	180	7.8	タンザニア 29名 ガ ー ナ 28名 ナイジェリア 28名 そ の 他 45名
中	南	米	14	199	11.2	ブラジル 70名 ベ ル ー 34名 コロンビア 24名 そ の 他 71名	
そ	の	他	6	9	0.5	バブア・ ニューギニア 2名  そ の 他 7名	
計		61	1,788	100			

注、「その他」の地域の「その他」は国連計画による受入れであり、国名はイギリス、フランス、オランダ、西ドイツ、ソ連である。

集 団	1,788名
個 別	177名
合 計	1,960名



(3) コース別・年度別研修員受入実績(昭和37年度～昭和55年度)

表 3

No	コース名	年度 省庁	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	計	No
			人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)	人員(月)		
1	鋳造	通産	10(8)			5(8)	9(7)	6(7)	8(7)	9(8)	7(7)	8(12)		10(9)	9(6)	9(8)	9(8)	10(8)	11(8)	10(8)	11(9)	141	1
2	金属表面	"				6(6)	8(7)		8(7)	4(7)	5(9)	9(7)	5(6)	3(6)	6(6)	8(6)	8(6)	6(6)	6(6)	6(6)	8(7)	98	2
3	金属加工	"											11(12)	13(12)	9(12)	8(12)	10(9)	9(11)	10(11)	10(11)	9(10)	89	3
4	溶接	"													10(6)	9(6)	11(6)	10(6)	9(7)	12(7)	10(8)	71	4
5	電気製鋼	"															10(3)	8(3)	11(3)	9(3)	11(4)	49	5
6	熱処理	"																			10(5)	10	6
7	窯業	"					10(9)	6(9)	8(10)	8(9)	8(9)	9(11)	10(11)	10(12)	10(12)	9(12)	10(11)	9(11)	7(11)	8(11)	7(11)	129	7
8	耐火物	"												10(7)	9(8)	8(8)	9(6)	10(6)	9(6)	7(6)	10(6)	72	8
9	釉・着色	"													7(7)	9(6)	7(6)	10(6)	7(6)	7(6)	7(6)	54	9
10	タイル	"														7(8)	9(8)	10(8)	9(8)	6(8)	9(7)	50	10
11	窯業開発セミナー	"												9(05)	-	10(1)	-	9(1)	-	10(1)	-	38	11
12	中小工業開発 セミナー	"				5(2)	14(2)	12(2)	8(3)	9(3)	14(3)	10(3)	16(3)	16(3)	14(3)	17(3)	13(3)	15(3)	12(3)	15(3)	12(4)	202	12
13	木材工業機械	"										8(4)	8(4)	13(3)	7(3)	10(3)	8(3)	12(3)	10(3)	9(3)	10(4)	95	13
14	工業開発計画	"													12(6)	9(6)	14(7)	14(6)	14(7)	14(7)	14(8)	91	14
15	織布	"	8(8)	3(8)			8(7)	7(7)	15(7)	6(6)	4(6)	9(8)	14(7)	12(7)	12(7)	8(8)	10(8)	12(8)	12(8)	12(8)	10(7)	162	15
16	繊維機械セミナー	"																	8(3)		8(3)	16	16
17	養鶏	農水				13(5)	10(5)	9(6)	8(6)	7(6)	7(6)	11(6)	10(6)	8(6)	7(5)	8(5)	8(5)	8(5)	8(5)	7(5)	8(5)	137	17
18	自動車整備	運輸		12(11)	9(11)	7(8)	7(10)	6(7)	8(7)	8(7)	9(7)	8(7)	6(7)	8(7)	8(6)							96	18
19	鋳造(再)	通産											5(3)									5	19
20	都市計画	建設	13(7)	7(4)	6(4)	10(4)	11(4)															47	20
21	橋梁工学	"		8(4)	7(4)																	15	21
22	船舶技術	運輸								9(6)												9	22
23	上級技能	労働		4(11)	4(11)																	8	23
24	畑地かんがい農業	農水										10(4)	12(6)									22	24
25	地域開発	総理府							10(3)	11(4)	13(4)											34	25
26	UNIDO 度量衡	国連										19(05)										19	26
27	フィリピン窯業 カウンターパート	通産															5(11)	5(11)	4(11) 1(1)	5(12)	1(12) 3(11)	24	27
	年度別計		81	84	26	46	77	46	73	71	67	101	97	112	120	129	141	159	148	147	158	1,788	

注：養鶏コースの昭和49年度および昭和50年度は種鶏コース。

#### (4) 昭和55年度研修員受入実績

昭和55年度においては、21の集団研修コース（54年度から継続された3コース及びフィリピン窯業カウンターパート3名・1コースを含む。）及び27件の個別研修を実施した。同年度における研修員受入総数は224名である。

これらの研修の実施にあたっては、通産省名古屋工業技術試験所等の国立の試験研究機関，愛知県，岐阜県，三重県，名古屋市，多治見市等の公立の諸機関および民間会社（約200社）の協力を得た。

当センターの研修コースは、途上国の経済開発のうえでニーズの極めて高い中小工業分野における人材養成を重視し、中部地区産業の特性を配慮して①窯業関係，②機械金属関係，③繊維・木材工業，④養鶏，⑤中小工業等の分野の技術研修を実施した。上記21コースの中の6コース〔タイルコース（伊奈製陶㈱），耐火物コース（美濃窯業㈱），釉着彩コース（多治見市陶磁器意匠研究所），中小工業開発セミナー及び工業開発計画実務コース（（社）中部産業連盟），熱処理コース（名古屋市工業研究所）〕の研修は、委託契約〔（ ）内委託先〕により実施した。

また、わが国の技術協力による比国窯業研究開発センター・プロジェクトのカウンターパートの受入れは、51年度にはじまり55年度迄に計24名が米名，名古屋工業技術試験所，多治見市陶磁器意匠研究所等で研修を受けた。

昭和55年度の受入実績等の内訳は以下の表のとおりである。





コ ー ス 別 受 入 実 績

表 5

No	集 団 コ ー ス	応 募 数	計 定 画 員	実 員	月 数	始 期	5 5 年 度												終 期	計 画 画 員	実 績 画 員	所 管 省 庁	主 たる 研 修 機 関 名
							4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
1	( 継 続 ) 窯 業 技 術	12	8	8	5.0	54. 9.27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55. 8.31	40	40	通 産	名古屋工業技術試験所他
2	( " ) 金 属 加 工 技 術	15	10	10	5.0	9.27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.31	50	50	"	"	
3	( " ) フィリピン窯業 カウンターパート	3	3	3	5.0	9.27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.31	15	15	"	"	
4	( " ) 電 気 製 鋼 技 術	18	9	9	1.0	55. 1.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.30	9	9	"	大同特殊鋼㈱・愛知製鋼㈱他	
5	( 新 規 ) 中 小 工 業 開 発 セ ミ ナ ー	17	15	12	4.0	4. 3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8. 1	60	48	"	( 社 ) 中 部 産 業 連 盟	
6	( " ) 金 属 表 面 処 理 技 術	9	8	8	7.0	4. 3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.31	56	56	"	名古屋工業技術試験所他	
7	( " ) 軸 着 彩 技 術	7	7	7	6.0	4. 3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10. 3	42	42	"	多治見市陶磁器意匠研究所	
8	( " ) 鋳 造 技 術	20	10	11	9.0	5. 8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.23	90	99	"	名古屋工業技術試験所他	
9	( " ) 木 材 工 業 機 械	16	10	10	4.0	5. 8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.31	40	40	"	中部木工機械工業会他	
10	( " ) 溶 接 技 術	21	10	10	8.0	6. 5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56. 1.23	80	80	"	名古屋大学他	
11	( " ) 工 業 開 発 計 画 実 務	21	14	14	8.5	7.24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.29	119	119	"	( 社 ) 中 部 産 業 連 盟	
12	( " ) 織 布 技 術	19	10	10	7.5	8.28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.29	75	75	"	愛知県三河・尾張繊維技術センター他	
13	( " ) ク イ ル 製 造 技 術	12	10	9	7.5	8.28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.29	68	90	"	伊奈製陶㈱	
14	( " ) 耐 火 物 製 造 技 術	15	10	10	6.5	9.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.29	65	65	"	美濃窯業㈱	
15	( " ) 窯 業 技 術	13	8	7	6.5	9.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.21	52	45.5	"	名古屋工業技術試験所他	
16	( " ) 金 属 加 工 技 術	18	10	9	5.5	10.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.21	50	49.5	"	"	
17	( " ) 織 維 機 械 工 業 セ ミ ナ ー	12	10	8	3.0	56. 1. 8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.29	30	24	"	東海繊維工業会他	
18	( " ) 熱 処 理 技 術	16	10	10	3.0	1.15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7. 3	30	30	"	名古屋市工業研究所	
19	( " ) 電 気 製 鋼 技 術	17	10	11	3.0	1.15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.10	30	33	"	大同特殊鋼㈱・愛知製鋼㈱他	
20	( " ) 養 鶏	10	8	8	5.5	55. 5. 8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55.10. 3	44	44	農 水	岡崎種畜牧場他	
21	( " ) フィリピン窯業 カウンターパート		注2 2 3	1 3	1 2.0 6.5	4. 3 9.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56. 3.29 8.21	44	12 19.5	通 産	名古屋工業技術試験所他	
	計	243	195	188 (97%)															1089	1085.5 (=99%)			

※ 印は新設コース

注 1 : (-1) は、早期帰国者を表わし、7名の内数。

注 2 : 上段は軸着彩技術コースに、下段は耐火物製造技術コースおよび窯業技術コースに合流。

(ハ) 個別受入実績

表6

No	個 別 等	計 定 画 員	実 員	月 数	始 期	55 年 度												終 期	計 画 mm	実 績 mm	所 管 省 庁	主 たる 研 修 機 関 名
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
1	インドネシア医療 (C)		1		55. 1. 21	—	—										55. 5. 24		2.0	厚 生	愛知県衛生部	
2	マレーシア金属表面処理 (C)		1		4. 3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10. 31		7.0	通 産	名古屋工業技術試験所他	
3	タイ衣服編糸 (UN)		3		4. 28	—											5. 10		1.5	国 連	豊田自動織機製作所他	
4	マレーシア鋳造 (個)		1		5. 8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56. 1. 23		9.0	通 産	名古屋工業技術試験所他	
5	ケニア中小工業 (〃)		1		5. 14	—											55. 5. 22		0.5	〃	(社)中部産業連盟	
6	マレーシア溶接 (C)		1		6. 5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56. 1. 23		8.0	〃	名古屋大学他	
7	インド中小工業 (個)		1		6. 15	—											55. 6. 21		0.5	〃	愛知学院大学他	
8	タイ通信工学 (C)		1		6. 16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10. 8		4.0	労 働	愛知県立一宮高等職業訓練校	
9	タイ高級研修 (個)		1		5. 22	—											5. 22		0.5	通 産	中部日本自動車整備学校	
10	トンガ高級研修 (〃)		1		6. 30	—											6. 30		0.5	JICA	名古屋国際研修センター	
11	ケニア機械加工 (C)		1		7. 23	—											8. 4		0.5	通 産	ワシノ機械 〇	
12	インドネシア窯業機器 (UN)		1		9. 2	—											11. 28		3.0	国 連	美濃窯業 〇	
13	トルコ窯業 (〃)		1		9. 26	—											10. 24		1.5	〃	名古屋工業技術試験所他	
14	計 量 標 準 (集)		3		8. 5	—											10. 31		9.0	通 産	計量研究所名古屋支所	
15	電気事業経営 (〃)		9		10. 17	—											11. 26		13.5	〃	中部電力 〇	
16	メキシコ窯業 (日墨)		2		9. 25	—											56. 8. 21		13.0	〃	名古屋工業技術試験所他	
17	インド初生離鑑別 (個)		2		9. 1	—											55. 12. 15		8.0	農 水	全日本初生離鑑別士協会	
18	タンザニア金属加工 (C)		1		10. 23	—											56. 8. 21		5.5	通 産	名古屋工業技術試験所他	
19	コロンプランセミナー (集)		7		8. 5	—											55. 8. 5		3.5	JICA	大竹製作所 〇	
20	プータン工作機 (ILO)		1		12. 4	—											12. 25		1.0	労 働	ワシノ機械 〇	
21	中国・繊維機械セミナー (個)		2		56. 1. 8	—											56. 3. 29		6.0	通 産	東海繊維機械工業会他	
22	ビルマ熱処理 (個)		1		1. 15	—											7. 3		3.0	〃	名古屋市工業研究所	
23	中国・電気製鋼 (個)		1		1. 15	—											5. 10		3.0	〃	大同特殊鋼 〇・愛知製鋼 〇他	
24	パラグエイ離鑑別 (個)		1		3. 2	—											57. 2. 16		1.5	農 水	全日本初生離鑑別士協会他	
25	フィリピン木型 (個)		1		3. 9	—											56. 3. 12		0.5	通 産	名古屋工業技術試験所他	
26	マレーシア排水計画 (個)		1		3. 13	—											3. 25		0.5	建 設	中部地方建設局	
27	日・シ訓練センター計画 (C)		1		1. 15	—											10. 7		2.5	労 働	雇用促進事業団	
	計	10	48															120	109			

注 (C) : プロジェクト・カウンターパート  
 (UN) : 国連計画  
 (個) : 個 別

(日墨) : 日墨交流計画

(集) : JICA本部および他研修センターの実施するコースであり、名古屋では研修の一部を実施するのみであるため、表6以外の集計からは除いてある。

当センターでは研修員に対し、一般オリエンテーション（経済、社会、教育等の各分野、およびセンターにおける生活等）を実施するとともに、ほぼ全コースの研修員に対して日本語のインテンシブ・コースを、又、希望者には、アドバンスト・コースを実施した。また、研修員に対する福利厚生事業として、テニススクール、バスハイク等多種多様のリクリエーション活動を行なった。

(5) 昭和56年度事業計画

昭和56年度においては、治工具コースの新設が認められたため、フィリピン窯業カウンターパート研修コースを含め18の集団研修コースの実施を計画している。これらコースの研修員受入予定人数は212名である。また、同年度においては、個別研修員として40名の受入れを予定している。

詳細は、次表のとおりである。

昭和56年度集団コース等計画表

表7

No	コース名	定員	予算月	始期	月												終期	人月	所管 省庁	主たる研修機関	
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
(継続) 1	窯業技術	6	5.0	55. 9. 25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56. 8. 21	30	通産	名古屋工業技術試験所(名工試)他
" 2	金属加工技術	9	5.0	10. 23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8. 21	45	"	全上	
" 3	電気製鋼技術	11	1.5	56. 1. 15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5. 10	17	"	全上・大同特殊鋼(株)・愛知製鋼(株)他	
" 4	熱処理技術	10	3.5	1. 15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7. 3	35	"	名古屋市工業研究所他	
" 5	フィリピン窯業 カウンターパート研修	3	5.0	55. 9. 25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8. 21	15	"	名工試・美濃窯業(株)他	
(新規) 1	釉・着彩技術	7	6.0	4. 2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9. 27	42	"	名工試・多治見市陶磁器意匠研究所他	
" 2	織布技術	10	6.0	4. 2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9. 27	60	"	愛知県三河・尾張繊維技術センター他	
" 3	中小工業開発セミナー	15	4.5	4. 9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8. 9	68	"	(社)中部産業連盟	
" 4	金属表面処理技術	8	6.0	4. 9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9. 27	48	"	名工試他	
" 5	木材工業機械	10	5.0	5. 7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9. 27	50	"	中部木工機械工業会	
" 6	養鶏	8	5.0	5. 7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9. 27	40	農水	岡崎種畜牧場	
" 7	溶接技術	10	7.5	6. 25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	57. 1. 29	75	通産	溶接学会・名古屋大学	
" 8	鋳造技術	10	7.5	8. 13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3. 27	75	"	名工試他	
" 9	タイル製造技術	8	7.5	8. 13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3. 27	60	"	名工試・伊奈製陶(株)	
" 10	工業開発計画実務	14	7.5	8. 13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3. 27	105	"	(社)中部産業連盟	
" 11	耐火物製造技術	10	6.5	9. 24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3. 27	65	"	名工試・美濃窯業(株)	
" 12	窯業開発セミナー	10	1.5	10. 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56. 11. 7	15	"	名工試他	
" 13	窯業技術	8	6.0	10. 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	57. 7. 2	48	"	全上	
" 14	金属加工技術	10	6.0	10. 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7. 2	60	"	全上	
" 15	電気製鋼技術	10	2.5	57. 1. 21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5. 15	25	"	全上・大同特殊鋼(株)・愛知製鋼(株)他	
" 16	熱処理技術	10	2.5	1. 21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7. 2	25	"	名古屋市工業研究所他	
" 17	フィリピン窯業 カウンターパート研修	5	8.6	56. 4. 2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3. 27	43	"	名工試他	
" 18	個別等	40	6.0	4. 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3. 31	240	"	全上	
" ①9	治工具生産技術	10	4.0	10. 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1. 29	40	"	(社)中部産業連盟	
	合計	252																1,326			

備考 ①9は56年度新設コース

参 考 资 料

表 8

## Group Training Courses &amp; Participants at NITC in respective years

Courses	Years																			Total	
	No. of	Participants	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978		1979
1. Foundry Engineering	10				5	9	6	8	9	7	8		10	9	9	9	10	11	10	11	141
2. Weaving Engineering	8	3			8	7	15	6	4	9	14	12	12	8	10	12	12	12	12	10	162
3. Ceramic Engineering					10	6	8	8	8	9	10	10	10	9	10	9	7	8	7	7	129
4. Metal Finishing Engineering				6	8		8	4	5	9	5	3	6	8	8	8	6	6	8	8	98
5. Small Industries Development				5	14	12	8	9	14	10	16	16	14	17	13	15	12	15	12	12	202
6. Poultry Development				13	10	9	8	7	7	11	10	8	7	8	8	8	8	7	8	8	137
7. Metal Works & Engineering											11	13	9	8	10	9	10	10	9	9	89
8. Wood Industrial Machinery										8	8	13	7	10	8	12	10	9	10	95	
9. Refractory Manufacturing Tech												10	9	8	9	10	9	7	10	72	
10. Ceramic Development Seminar												9		10		9		10		38	
11. Ceramic Glaze & Decoration													7	9	7	10	7	7	7	54	
12. Welding Technology													10	9	11	10	9	12	10	71	
13. Business Feasibility Study & Management Practice													12	9	14	14	14	14	14	91	
14. Tile Manufacturing Technology														7	9	10	9	6	9	50	
15. Electrical Steel Making Eng															10	8	11	9	11	49	
16. CRDC Counterpart Training															5	5	5	5	4	24	
17. Textile Machinery Industries																	8		8	16	
18. Upland Irrigation Farming										10	12									22	
19. City Planning & Housing	13	7	6	10	11															47	
20. Bridge Engineering		8	7																	15	
21. Regional Development							10	11	13											34	
22. Ship Building & Repair								9												9	
23. Vocational Training		4	4																	8	
24. Advanced Foundry Re-training											5									5	
25. UNIDO Metrology										19										19	
26. Automobile Service Engineering		12	9	7	7	6	8	8	9	8	6	8	8							96	
27. Heat Treatment Technology																				10	10
Total	31	34	26	46	77	46	73	71	67	101	97	112	120	129	141	159	148	147	158	1,783	

5 1 年 度 研 修 実 績 表

表 9

コ ー ス 名	定 員	応 募 数	実 員 数	月 数	5 1 年 度												所 管 省 庁	主 研 修 先	回 数
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1 金 属 加 工 ( 継 )	10	9	8	12													通 産	名古屋工業技術試験所他	4
2 窯 業 ( 継 )	10	10	9	11													〃	〃	11
3 金 属 表 面 処 理	8	11	8	6													〃	〃	11
4 釉 着 彩	8	7	7	6													〃	多治見市陶磁器意匠研究所	3
5 織 布	12	10	10	8													〃	愛知県三河・尾張繊維技術センター	13
6 中 小 工 業 セ ミ	15	16	13	3													〃	名古屋通産局他	12
7 鋳 造	10	14	9	8													〃	名古屋工業技術試験所他	12
8 タ イ ル	10	11	9	8													〃	伊奈製陶(株)	2
9 工 業 開 発 計 画 実 務	15	23	※14	7													〃	(社)中部産業連盟	3
10 溶 接	10	14	11	6													〃	溶接学会東海支部他	3
11 耐 火 物	10	9	9	6													〃	美濃窯業(株)	4
12 窯 業	10	17	10	11													〃	名古屋工業技術試験所他	12
13 金 属 加 工	10	18	10	9													〃	〃	5
14 木 材 工 業	12	8	8	3													〃	中部木工機械工業会他	6
15 電 気 製 鋼	10	12	※10	3													〃	大同特殊鋼(株)他	1
16 養 鶏	8	9	8	5													農 林	岡崎種畜牧場	12
計	168	198	153																
( 個 別 ) プ ラ ジ ル 耐 火 物	( 継 )	1	1	3													通 産		
ウ ェ ッ ト ナ ム 窯 業	( 継 )	1	1	( 2 )													〃		
ス ー ダ ン 太 陽 炉		1	◎ 1	2													〃		
フ ィ リ ピ ン 窯 業		5	5	11													〃		
メ キ シ コ 植 物		1	◎ 1	6													文 部	名 古 屋 大 学	
エ ル サ ル 窯 業		( 1 )	( 1 )	1													通 産	集 団 コ ー ス よ り 個 別 へ	
メ キ シ コ 放 電		( 1 )	( 1 )	1													〃	〃	
計		9	9																

(注) ※ 印の実員中各々1人は他コースより継続参加者を含む。 ◎ は本部扱いのもの。



表10

5 2 年 度 研 修 実 績 表

No	コ ー ス 名	応 募 数	定 員	実 員	始 期	5 2 年 度												終 期	所 管 省 庁	主 研 修 先
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1	窯 業(継)	14	10	10	<sup>51</sup> 11・4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<sup>52</sup> 9・30	通 産	名古屋工業技術試験所他
2	金 属 加 工	17	10	10	<sup>52</sup> 1・6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9・30	〃	〃	
3	フィリピン窯業	5	5	5	2・4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12・20	〃	〃	
4	金属表面处理(新)	10	8	8	5・5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9・30	〃	〃	
5	釉 着 彩	12	8	8	4・7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9・30	〃	多治見市陶磁器意匠研究所他	
6	中小工業セミナー	22	15	15	4・7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6・30	〃	名古屋通産局他	
7	工業開発計画実務	25	15	14	6・23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12・25	〃	(社)中部産業連盟	
8	鋳 造	14	10	10	7・28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<sup>53</sup> 3・31	〃	名古屋工業技術試験所他	
9	タ イ ル	14	10	10	7・28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3・31	〃	伊 奈 製 陶 (株)	
10	織 布	15	12	12	7・28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3・31	〃	愛知県三河・尾張 繊維技術センター	
11	耐 火 物	15	10	10	9・29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3・31	〃	美 濃 窯 業 (株)	
12	溶 接	14	10	10	9・29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3・31	〃	溶接学会東海支部 他	
13	窯 業	14	10	9	9・29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8・31	〃	名古屋工業技術試験所他	
14	金 属 加 工	15	10	10	9・29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8・31	〃	〃	
15	窯業セミナー	9	10	9	10・6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<sup>52</sup> 10・31	〃	〃	
16	木材工業機械	16	12	12	<sup>53</sup> 1・5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<sup>53</sup> 3・31	〃	中部木工機械工業会	
17	電 気 製 鋼	8	10	8	1・5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3・31	〃	大同特殊鋼(株)他	
18	養 鶏	9	8	8	<sup>52</sup> 4・28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<sup>52</sup> 10・3	農 林	岡崎種畜牧場	
19	フィリピン窯業	5	5	5	<sup>53</sup> 1・5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<sup>53</sup> 12・25	通 産	名古屋工業技術試験所他	
計		253	188	183																

昭和53年度研修実績表

表11

	集 団 コ ー ス	応 募 数	定 員	実 員	5 3 年 度													所 管 庁	主 研 修 先
					始 期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1	窯 業 ( 継 )	14	10	9	<sup>52</sup> 9・29	—————							<sup>53</sup> 8・31	通 産	名古屋工業技術試験所他				
2	金 属 加 工	15	10	9	9・29	—————							8・31	〃	〃				
3	フィリピン窯業	5	5	5	9・29	—————							10・9	〃	〃				
4	釉 着 彩 ( 新 )	9	7	7	<sup>53</sup> 4・6	—————							9・30	〃	多治見市陶磁器意匠研究所他				
5	金属表面处理	7	8	6	4・6	—————							9・30	〃	名古屋工業技術試験所他				
6	中小工業セミナー	18	15	12	4・6	—————							6・30	〃	名古屋通産局他				
7	木材工業機械	11	10	10	4・20	—————							7・28	〃	中部木工機械工業会				
8	繊維機械セミナー	11	10	8	5・11	—————							7・28	〃	名古屋通産局他				
9	養 鶏	10	8	8	4・26	—————							9・30	農 林	岡崎種畜牧場				
10	溶 接	9	10	9	6・22	—————							<sup>54</sup> 1・31	通 産	溶接学会東海支部他				
11	タ イ ル	11	10	9	7・20	—————							3・31	〃	伊 奈 製 陶 ( 株 )				
12	鋳 造	20	10	11	7・20	—————							3・31	〃	名古屋工業技術試験所他				
13	織 布	16	12	12	7・20	—————							3・31	〃	愛知県三河・尾張 繊維技術センター				
14	工業開発計画実務	18	14	14	8・24	—————							3・31	〃	(社) 中部産業連盟				
15	耐 火 物	15	10	9	9・21	—————							3・31	〃	美濃窯業(株)				
16	窯 業	10	8	7	9・21	—————							8・31	〃	名古屋工業技術試験所他				
17	金 属 加 工	12	10	10	9・21	—————							8・31	〃	〃				
18	電 気 製 鋼	14	10	11	<sup>54</sup> 1・25	—————							4・30	〃	大同特殊鋼(株), 愛知製鋼(株)他				
19	フィリピン窯業		5	5	<sup>53</sup> 4・1 <sup>53</sup> 11・24 <sup>54</sup> 2・15	—————							3・31 9・3 3・9	〃	名古屋工業技術試験所他				

	個 別	実 員	5 3 年 度													所 管 庁	主 研 修 先
			始 期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1	マルタ鋳造	2	4・11	—————							4・29	通 産	新 東 工 業				
2	タイ理化機器	2	8・16	—————							10・17	文 部	八神理化器製作所				
3	計 量 標 準	3	8・30	—————							11・25	通 産	計 量 研 究 所				
4	タイ中小工業	6	10・12	—————							10・17	〃	関 連 企 業				
5	電気事業経営	7	10・23	—————							11・17	〃	中 部 電 力				
6	インドネシア河川工学	6	3・16	—————							6・15	建 設	中部地建庄内川事務所				

昭和54年度研修実績表

表12~1

No	コース名	応募	定員	実員	始期													終期	所管 省庁	主 研 修 先
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1	(継)金属加工	12	10	10	53. 9. 21													54. 8. 31	通 産	名古屋工業技術試験所他
2	窯 業	10	7	7	9. 21													8. 31	"	"
3	電気製鋼	14	10	11	54. 1. 25													4. 30	"	大同特殊鋼(株)・愛知製鋼(株)他
4	フィリピン窯業	-	3	2 1	53. 11. 24													9. 30 55. 3. 31	"	名古屋工業技術試験所他
5	インドネシア 河川工学	-	5	6	54. 3. 16													54. 6. 17	建 設	中部地方建設局
6	(新)中小工業セミナー	19	15	15	4. 5													6. 30	通 産	(社)中部産業連盟他
7	釉 着 彩	11	7	7	4. 5													9. 30	"	多治見市陶磁器意匠研究所他
8	金属表面处理	10	8	6	4. 5													9. 30	"	名古屋工業技術試験所他
9	養 鶏	10	8	7	4. 26													9. 30	農 林	岡崎種畜牧場
10	木材工業機械	15	10	9	5. 3													7. 30	通 産	中部木工機械工業会他
11	溶 接	15	10	12	6. 28													55. 1. 28	"	溶接学会東海支部他
12	窯業開発セミナー	12	10	10	6. 28													54. 7. 30	"	名古屋工業技術試験所他
13	鋳 造	12	10	10	7. 26													55. 3. 31	"	"
14	織 布	13	10	12	7. 26													3. 31	"	愛知県三河・尾張繊維技術センター他
15	タ イ ル	9	10	6	7. 26													3. 31	"	伊奈製陶(株)
16	工業開発計画実務	15	14	14	8. 23													3. 31	"	(社)中部産業連盟
17	耐 火 物	7	10	7	9. 27													3. 31	"	美濃窯業(株)
18	窯 業	12	8	8	9. 27													8. 31	"	名古屋工業技術試験所他
19	金属加工	15	10	10	9. 27													8. 31	"	"
20	電気製鋼	18	10	9	55. 1. 24													4. 30	"	大同特殊鋼(株)・愛知製鋼(株)他
21	フィリピン窯業	5	7	2 2 1	4. 5 9. 27 9. 27													3. 31 8. 31 8. 31	"	名古屋工業技術試験所他

昭和54年度研修実績表

表12~2

	個 別	実 員	始 期													終 期	所 管 省 庁	主 研 修 先	
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
①	メキシコ内視鏡	1	54. 3. 21	—	—	—	—	—									54. 7. 27	厚生	愛知県がんセンター
②	ブラジル放射線	1	3. 27	—	—	—	—	—									56. 3. 31	文 部	名古屋大学
3	マレーシア金属表面処理	1	4. 5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55. 3. 31	通 産	名古屋工業技術試験所他
4	タイ・コンピューター	1	4. 16	—	—	—	—	—									54. 8. 21	”	日立製作所
5	バングラデシュ窯業	1	7. 19				—										8. 1	国 連	名古屋工業技術試験所他
⑥	フィリピン鋳造	1	9. 3	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	55. 1. 28	通 産	”
7	コスタ・リカ電子顕微鏡	1	10. 16								—	—	—	—	—	—	1. 20	文 部	名古屋大学
8	インド火力発電	2	10. 30								—	—	—	—	—	—	54. 12. 14	国 連	中部電力
9	インドネシア臨床検査	1	55. 1. 10												—	—	55. 5. 24	厚生	愛知県総合保健センター他
	(小 計)	(194)																	
	そ の 他																		
1	計 量 標 準	3	8. 28			-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	11. 23	通 産	計量研究所名古屋支所
2	電 気 事 業 経 営	9	10. 20								—	—	—	—	—	—	11. 28	”	中部電力

○印は前年度からの継続。

----- 線部分は、当センター以外での研修期間。



